

情報モラルちょっと授業

～10分で指導する情報モラル～

対 象 学 年	中学校2年生
---------	--------

領 域	教科指導（ 社会科 ）
指 導 項 目	〔地理的分野〕（2）日本の様々な地域 イ 都道府県

<u>情報モラル指導モデルカリキュラム</u>			
分 野	安全への知恵		
コ ー ド	e4-1	指 導 事 項	情報の信頼性（・ 信憑性 ）を吟味できる
指導のねらい	生徒がウェブページの情報の真偽を確かめようとする態度と意識をもたせる。		

科 目 ・ 活 動 と の 関 連	社会科の都道府県の概要を理解させるため、インターネットを使って調べ学習をする場面で、ウェブページの情報の真偽を確認する指導を行う。		
利 用 教 材 (サイト等)	ネット社会の歩き方（ http://www.cec.or.jp/net-walk/ ） 「1 Web サイトの情報を活用しよう」（中学生） 情報モラル実践事例集「 http://kayoo.org/moral-guidebook/jirei/index2.html 」 参考「Web ページの情報を使おう。」「その情報、本当かな？」 都道府県プレゼンテーション（自作教材）		

学習の過程（20分）	指導法	指導の留意点
- 虚偽の情報が載ったプレゼンを見る。 - 情報の真偽を確認する必要性について知る。 - インターネットを使って、調査活動をする。	- 古い情報や間違った情報を取り入れた都道府県の紹介プレゼンテーションを見て、間違いに気づかせる。 - インターネットサイト「ネットの歩き方」の「Web サイトの情報を活用しよう」を見せて、情報の検索の仕方や信頼できる情報の探し方について理解させる。 - インターネットを使って都道府県について調べさせる。 - インターネットを使って、情報の真偽を確かめさせる。	- プレゼンは、インターネットを参考に作ったことを伝え、Web ページの情報はすべて正しいとは限らないことに気づかせる。 - ウェブページの情報が正しいかどうか見極める必要性やウェブページの情報を引用する時、勝手にコピーしたり、文章を自分の意見であるかのように発表したりすることが著作権法違反であることを理解させる。 - 調べた情報が間違っていないか、古い情報ではないかを確認させる。 - 同じ情報を扱っていて、信頼がおける専門機関や公式のウェブページと内容を比較させる。

実 践 の 評 価	ウェブページから得た情報について、子どもたちの中から「公式のウェブページで比較する」「百科事典で確かめる」など、真偽を検討しようとする態度が生まれることが期待できる。
-----------	---